



大好き かたびら

令和8年4月30日
横浜市立帷子小学校
校長 梅田 佳美
学校だよりNo.2 5月号

TEL 335-5896 FAX 331-5109

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

安心して挑戦できる学校をめざして

校長 梅田 佳美

校庭の木々が芽吹き、鮮やかな緑の葉を揺らしています。子どもたちの学校生活も、少しずつ緊張が解け、表情にゆとりが見られるようになりました。音楽朝会では全校児童で校歌を体育館いっぱい響かせ、表情豊かに歌う姿に、さわやかな気持ちになりました。

一方で、5月はつまずきが出やすい時期でもあります。朝の支度がゆっくりになったり、友だち関係での小さなトラブルが起きたり、学習への疲れが見え始めたりすることがあります。こうした様子に、心配を感じられる保護者の方もいらっしゃるかもしれません。しかし、この時期に見られる子どもたちの姿は、成長の過程で誰もが通る大切な一歩でもあります。その姿を、ネガティブにとらえるか、前向きにとらえるかで、その後は大きく変わります。困る経験があるからこそ相談する力が育ちます。失敗があるからこそ、次の挑戦の原動力になります。

学校は、子どもにとって「失敗しても大丈夫な場所」でありたいと考えています。うまくいかなかったときに責めるのではなく、「どうしたら次はできるのかな」と共に考えてもらえる場所でありたいと思います。安心して挑戦し、安心して立ち止まれることが、子どもたちの確かな成長につながると信じてします。

今年度は、新たな挑戦としてチーム担任制をスタートさせました。子どもたちを一人で支えるのではなく、チームで支えていきます。担任だけではなく、児童支援専任、教科専科、管理職、養護教諭、スクールカウンセラーなど、学校には様々な立場の職員がいます。みんなで子どもたちを支えます。そして、子どもたちを支えるチームの大切な一員が保護者の皆様です。学校と家庭が思いを共有し、同じ方向を向いて子どもたちを支えることが、何よりの力になります。

4月15日には、交通安全教室が開かれました。多くの保護者の皆様のご協力により、1年生は学校周辺道路を使った横断歩道の歩行指導を受けることができました。警察の方からは、「保護者の皆様のご協力があることで、このような形で郊外での学習が出来ました」とのお話もいただきました。保護者の皆様に支えられ、子どもたちの学びがより安全でより豊かなものになることを改めて感じました。学校はこれからも安心して挑戦できる場であるとともに、保護者の皆様と共に歩む学校でありたいと考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。